

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当：（1組2組4組6組：内田文子） （3組5組7組8組：錦織千恵子）

使用教科書：（ Agenda家庭基礎（実教出版）、最新家庭生活ハンドブック 資料&成分表（教育図書） ）

教科 家庭 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 自立した生活に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての科学的な理解と技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭や社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 相互に支え合う社会の構築に向けて、主体的に地域社会に参画し、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え家庭・家族の意義、家庭・家族と社会の関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解を深め、それらにかかわる技能を身につけるようにする。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取組み改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 自分・家族 多様化した社会に生きる 【知識及び技能】 社会と生き方の多様化を把握するとともに、他者との比較を通して自己を客観的に見る視点を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の人生に向けて自立のために必要な生活スキルを理解する。	・指導事項 社会と生き方の多様化を理解する。 ・教材 「家族に関する意識調査」 ・1人一台端末の活用等 意識調査の集計、ワークシートの提出 等	・個人の生き方や性のあり方など多様性の尊重について理解している。 ・青年期の意味と自立への課題について理解し、今後の人生選択に関係する基礎的・基本的知識を身につけている。	○		○	4
	家族・人生・生き方と法律 【知識及び技能】 家族法の基本的な知識や近年の動向を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族法について考え、選択的夫婦別姓や同性婚など近年の動向について検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族法について関心を持ち、今後の課題等考えを深める。	・指導項目 家族に関する法律を理解する。 ・教材 明治民法（旧民法）と現行民法の比較 ・1人一台端末の活用等 討論に必要な資料検索・ワークシートの提出等	・家族法の内容と今後の課題について理會したうえで、多様な生き方を尊重し男女が協力して社会を築くという考え方を身につけている。	○	○	○	2
	消費・環境 消費社会を生きる 【知識及び技能】 家計と経済の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動と消費行動について理解し、問題意識を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 家計の管理やリスク・マネジメントについて関心を持ち、適切な判断ができる。	・指導項目 消費・環境 消費社会を生きる ・教材 「19歳の家計簿」「生活設計と社会保障ゲーム」 ・1人一台端末の活用等 ワークシートの提出等	・日常生活における経済の計画を考え、課題を見出しその解決を目指し考えを深めている。 ・消費をめぐるトラブルに直面した場合の解決方法や手段を身につけている。	○	○	○	2
	単元 衣生活 衣服の材料と管理 【知識及び技能】 衣服材料について繊維の種類と特徴について理解する。 適切な衣服の管理を理解し、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 燃焼法による繊維の判別と繊維の吸水試験により繊維の特徴を捉える。 衣服の汚れ落ちに関する実験を通して衣服管理についての知識を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 燃焼法による繊維の判別と繊維の吸水試験、洗濯実験に興味を持ち、実践している。	・指導項目 衣生活 衣服の材料と管理 ・教材 燃焼法による繊維の判別と繊維の吸水試験 人工汚染布を使用した洗濯実験 ・1人一台端末の活用等 実験の記録、ワークシートの提出等	・個性豊かで健康的な衣生活を送るために必要な衣服の材料・管理方法などについて、基礎的・基本的な知識を身につけている。	○	○	○	4
	衣生活 これからの衣服 【知識及び技能】 持続可能な衣生活を目指し、基本的な縫い方の技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 被服製作を通して創意工夫することや物づくりの楽しさを知り、環境に配慮した衣生活について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 被服製作を計画的に実践している。	・指導項目 これからの衣服 ・教材 小物製作 ・1人一台端末の活用等 縫い方の動画視聴等、ワークシートの提出等	・自らの衣生活について、流行と個性、環境、健康、安全などの関係で問題点や課題をみい出すことができる。 ・小物製作を通して基本的な縫い方の技術を身につけ、衣服の修繕方法を理解している。	○	○	○	10

2 学 期	単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 生活の中から課題を見つけ、自ら課題解決のために行動する。	・指導項目 ホームプロジェクト ・教材 ホームプロジェクト実践例 ・1人一台端末の活用等 資料検索、レポート等	・家庭基礎で学んできたことを活かし、課題解決のための過程を組み立てることができる。	○			1
	定期考査			○			1
	単元 食生活 【知識及び技能】 食生活の現状を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の食生活について問題点や課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな観点から日ごろの食生活を振り返り、課題を発見することができる。	・指導項目 食生活 食生活の現状 ・教材 「国高生の食生活実態調査」「日本の食の変遷」 ・1人一台端末の活用等 「国高生の食生活実態調査」の集計、ワークシートの提出等	・食生活や食物・食品に関心を持ち、自らの食生活について、健康を維持するだけでなく、精神的な豊かさを向上させる意味も持つことを理解し、そのために必要な知識の習得、改善のための考察や行動に意欲的に取組もうとする。	○	○	○	4
	食品と栄養素の関わり 食事をつくる 【知識及び技能】 健康な食生活を営むために必要な栄養、食品などの基礎的・基本的な知識と技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 和食・洋食・中国料理の特徴や課題について理解し、改善策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調理実習や調理の課題について関心を持ち、意欲的に取組むことができる。	・指導項目 食生活 食品と栄養素の関わり 食事をつくる ・教材 バランスの良い食生活 食事摂取基準 食品群別摂取量のめやす 調理実習 ・1人一台端末の活用等 調理実習の記録 栄養価計算 資料の検索等 ワークシートの提出	・バランスの良い食生活の重要性を理解し、エネルギーや食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすについて理解している。 ・栄養素の種類とその特徴に関する知識を習得し、それらを多く含む食品の特徴を理解している。 ・食品の保存、食中毒等の基本的な知識を身につけている。 ・調理実習において、調理のための基礎的な技術が習得できており、知識と融合させて、献立を考え、食品を選び、調理などの行動ができる。	○	○	○	19
	定期考査			○			1
	単元 高齢者 高齢者と生きる 【知識及び技能】 高齢者体験により高齢期の心身の特徴と生活支援技術の知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の心身の特徴を理解し、適切な介助について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者体験などの体験実習から、高齢者や介助者への支援に関心を持ち、考えを深めている。	・指導項目 高齢者 高齢者と生きる ・教材 高齢者体験 車椅子体験 ・1人一台端末の活用等 レポート提出等	・高齢者の心身の特徴を理解し、それらについて、基礎的・基本的知識が身につけている。 ・高齢者の尊厳や人権について理解し、高齢者の生活支援に関する基礎的・基本的な知識が身につけている。	○	○	○	4
	単元 高齢者 高齢社会の現状と課題 高齢者を支える制度としくみ 【知識及び技能】	・指導項目 高齢者 高齢社会の現状と課題 高齢者を支える制度としくみ ・教材	・高齢期の問題について、ライフコースのなかで、自らが将来直面することとして、高齢者の生活上や福祉の問題を考えることができる。				

3 学 期	さまざまな資料から高齢社会の現状や課題について理解し、高齢者を支える制度としくみを知る。 【思考力、判断力、表現力等】年金制度や意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】高齢社会の現状や福祉制度、年金についての考えを深めることができる。	「ロールプレイングを通して家族の目線から高齢社会を考えよう」 ・1人一台端末の活用等 資料検索、レポート提出等		○	○	○	6
	単元 子どもの心と体の発達 【知識及び技能】乳幼児期の子どもの発達の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】子どもや子育てに関心をもち、子どもの身体的・精神的発達について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】乳幼児期の子どもに関心をもち、発達の特徴を理解し、地域の人間として、将来の親としてどうしたらよいか考えを深めている。	・指導項目 子どもの心と体の発達 ・教材 「乳幼児の保育」新生児人形 妊婦体験具 胎児模型 子宮内模型 ・1人一台端末の活用等 資料検索、レポート提出等	・子どもや子育てに関心をもち、乳幼児の身体的・精神的発達について理解している。 ・子どもが健やかに成長するためにはどうしたらよいか、意欲的に考えようとする。	○	○	○	4
	単元 子どもの生活 子どもの育つ環境と社会 【知識及び技能】子どもの生活習慣を理解する。 さまざまな子育て支援の場があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】子どもの健康と安全について考えることができる。 子育てに関する制度などを理解し、子どもを取り巻く環境の変化と関連させて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】子どもの生活について、知識を活かし援助する方法を考えることができる。 子育て支援やその課題について考えることができる。	・指導項目 子どもの生活 子どもの育つ環境と社会 ・教材 「子どもの発達と基本的生活習慣」「発達の個人差を大切にした保育とは」「子どもの育つ環境」 ・1人一台端末の活用等 資料検索、ワークシート提出等	・子どもの生活に関わる基礎的・基本的な知識やその援助の方法などを理解している。 ・子育てに関する制度などを理解し、環境の変化や課題について考えることができる。	○	○	○	4
	単元 子どもと遊び 【知識及び技能】子どもの生活の中心である遊びを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】子どもの遊びや児童文化財について考え、伝承遊びを体験する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 子どもと遊び ・教材 伝承遊び体験等 ・1人一台端末の活用等 資料検索、ワークシート提出等	・子どもが安心してさまざまな遊びを楽しむためにどのような環境が望ましいか考える。 ・伝承遊び体験を通して、子どもが遊びを楽しむための工夫を考え、実践することができる。	○	○	○	4

合計

70

合計
70